

広島交響楽協会 会長退任と就任のご挨拶

池田晃治 前会長 ご挨拶

広響会長として、8年の長きにわたり皆様には大変お世話になり、誠にありがとうございました。

この間、多くの思い出に残るイベントがありましたが、一つは令和元年のポーランド公演です。第15回「ショパンと彼のヨーロッパ」国際音楽祭へ広響が参加することとなり、応援団として私もワルシャワへ乗り込みました。その時のスタンディングオベーションに感激で胸が一杯になったことを昨日のように思い出します。

もう一つは2024年4月に、それまで7年にわたって広響を育てて頂いた下野竜也総監督からクリスティアン・アルミンク監督への交代という楽団の大きな節目がございました。現体制も3年目に入り人気も上々で、広響の演奏レベルが年々向上していると耳にすることが増え、大変嬉しく思っております。

皆様にはこれまで広響に多大なるご支援を賜り、感謝の気持ちで一杯です。郷土の誇りである広響が、今後も地域の芸術文化発展のため一層活躍できますよう、部谷会長・妹尾理事長の新体制をどうかよろしく願い申し上げます。



部谷俊雄 新会長 ご挨拶

このたび、池田前会長の後任として会長に選任頂いた部谷でございます。就任にあたり一言ご挨拶申し上げます。

広島交響楽団は、本年創立63年目を迎え、クリスティアン・アルミンク音楽監督の下、現在では我が国有数のオーケストラに成長、内外からの評価も益々高くなっております。広島東洋カープ、サンフレッチェ広島、広島ドラゴンフライズと共にP4 HIROSHIMAとして社会貢献活動を行うなど、地域が誇る楽団として活躍の場を広げております。

2026年度のテーマは「STORIES (ストーリーズ)」です。作曲者が作品に「物語」や「情景」など具体的なイメージをタイトルとして付した名曲を音楽監督が厳選しており、1年を通してお楽しみ頂きたいと存じます。

私も広響応援団長として、妹尾理事長はじめ理事各位と力を合わせ応援していく所存です。皆様におかれましても、広響に一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。会長就任の挨拶といたします。

